

事業名	常時啓発事業費			調査番号	
細事業名	明るい選挙推進大会等開催費	財務コード	115602	16	
担当部課室	総務部	市町村課	行政選挙担当 (内線)	8771	

## I 事業の概要

実施期間	始期 不明 年度 ~ 終期 設定なし 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に ①県及び市町村明るい選挙推進協議会委員・職員 ②県及び市町村選挙管理委員会委員・職員 ③市町村各種団体関係者(社会教育関係者、青年団等) ④一般県民	その対象をどのような状態にして 民主主義の根幹をなす選挙についての認識を新たにし、明るい選挙の積極的推進への意欲が高まっている。(①~③) 政治、経済、歴史、法律など幅広い題材による教養講座を受講することにより、県民の政治意識が向上している。(①~④)	結果、何に結びつけるのか 明るい選挙の推進と県民の政治意識の向上
内容	<p>明るい選挙推進大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数:1回</li> <li>内容:明るい選挙推進功労者表彰、明るい選挙啓発キャッチフレーズ及びポスター入選者表彰、明るい選挙実践事例発表等</li> </ul> <p>政治大学講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数:1回(明るい選挙推進大会に引き続き開催)</li> <li>内容:政治、選挙を主に、経済、歴史、法律など幅広い題材による教養講座を開催し、県民の政治意識の向上に努める。</li> </ul> <p>※「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のこと。</p>		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	明るい選挙推進大会、政治大学講座の開催	目標	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績(見込)	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		236	278	278	304	314	348	260

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	毎年1回開催し、予定どおりの活動量があった。
成果指標	b	評価	明るい選挙推進の中核的役割を担っている明るい選挙推進協議会委員等の知識・意欲の向上に役立つとともに、一般県民の政治に対する知識や意識向上に寄与しており、本事業は、意図した成果をほぼ上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	政治大学講座は、その時々により県民の興味を引くテーマによる講座を考えることにより、参加者の政治意識は毎年向上していくと考える。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明	政治大学講座は、参加者がより興味を引くような内容の講座を検討する必要がある。		
見直しの必要性	有	政治大学講座について、テーマや内容をより多くの人が興味を引くものになるよう検討する。		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	政治大学講座のテーマについて、研究や検討を行う。
----------	----	--------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。